

出向く営農レポート

東郷地域 有機栽培 小松菜編

昨年の9月号クローズアップで紹介した松田洋幸さんは小松菜をはじめ、様々な野菜の有機栽培に取り組んでいます。



東郷地域担当
村瀬 淳



青々とした小松菜の畑です。中心の畝は間もなく出荷が始まります。小松菜の品種は時期によって変えており、12月～1月中旬までは「わかみ」、2月～3月中旬までは「きよすみ」、3～6月、8月下旬～9月中旬までは「いなむら」、9月下旬～11月までは「きよすみ」を播種しています。どの時期でもおいしい小松菜を出荷できるよう研究を重ねています。



有機栽培で最も大変なのが害虫の防除です。有機栽培は農薬散布ができないため、土壌診断を行って状態を知り、バランスのとれた配分で有機肥料を使用して虫の発生を減らします。↑



発芽しているのは小松菜と丸葉春菊です。施肥を行うときには窒素や炭素のバランスに注目します。炭素は牛糞などに含まれ有機栽培には欠かせません。また、微量元素といわれるミネラル分を適切に施肥することで味にうまみができます。↑



袋詰めをした小松菜は葉もピンとしており新鮮さが伝わります。松田さんの栽培する野菜は2月23日にモリコロパークで開催する合併20周年記念感謝祭でも販売します。ぜひお買い求めください。→



出荷作業の様子です。外葉をとり根部に近い部分は土を落として袋詰めします。収穫は涼しいうちに行うため、春から11月は朝6時までに収穫しています。



有機栽培(有機農業)

化学肥料や農薬、遺伝子組換え技術を使わない環境にやさしい栽培方法のこと